

No.28
平成18年3月15日発行
発行者
港北区体育指導委員連絡協議会
編集
港北区体指協広報委員会
事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
045-540-2240
FAX 045-540-2245

第28号
港北区体育指導委員連絡協議会広報紙

活き生き体指
KOHOKU

第21回 港北駅伝大会

第21回港北駅伝大会を終えて

港北体指駅伝委員長 松本 勝彦

前夜の雨がうその様な大会当日、大変盛大に、又各町会からも多数のテントが張られ、行うことが出来ました。駅伝大会が大勢の役員の皆様方のお力添えを頂きまして終る事が出来ました。大変ありがとうございました。私は駅伝委員長を酒井会長より引き継がせて頂きましてなんとか無事に終わらせたいと思い、各駅伝委員さんと力を合わせて頑張りました。当日の朝、五時に会場で陸協役員の安斎さんと、区役所の長尾さんと暗い中打合わせをしました。コースを短くしても大会を行いたいとの事でしたので水溜りの水を排水する事から始まりました。完全に排水作業が終ったのは七時半で、どうにか間に合わせる事が出来、競技を予定通り行う事が出来ました。これから先この大会もずっと続くことと思います。いろいろ反省する事もあると思いますが、陸上競技協会の皆様、体育指導委員の皆様の力強い協力を頂きまして来年に向けてスタートしたいと思います。又来年も盛大に大会が出来ます様宜しくお願ひいたしまして第21回港北駅伝大会を振り返らせて頂きました。



スタート！

連合町内会の部 区間賞

区間	距離(km)	氏名	チーム名	記録
1	4.05	服部 文祥	太尾連合A	13分48秒
2	1.00	山本 和美	高田	4分18秒
3	3.00	竹内宏一郎	菊名地区連合町内会	11分55秒
4	4.00	池谷 稔	樽町スターズ	14分19秒
5	1.00	中川 侑亮	新吉田	4分10秒
6	3.00	伊藤とも子	大曾根B	12分34秒
7	4.00	高橋 優	城郷連合	12分56秒
8	1.00	萬羽 愛美	大曾根B	3分52秒
9	3.00	城平 理恵	新羽さわやか	12分07秒

第21回港北駅伝大会記録

部別	一般男子の部 タイム(24.00km)	一般・高校女子の部 タイム(24.00km)	高校男子の部 タイム(24.00km)	中学男子の部 タイム(16.05km)	中学女子の部 タイム(16.05km)	連合町内会の部 タイム(24.05km)
順位						
優勝	さくらRC 1'24'18"	白鵬女子高等学校 1'29'33"	県立新栄高校 1'20'19"	日吉台中学校陸上部Z 56'14"	日吉台中学校陸上競技部A 1'04'34"	太尾連合(A) 1'33'54"
準優勝	ハクラクAC 1'25'35"	県立新栄高校 1'31'24"	横浜商大高校 1'20'43"	神奈川中学校陸上競技部A 58'55"	大綱中学校陸上部A 1'05'44"	大曾根B 1'35'38"
3位	ミツビシGUTS 1'25'57"	慶應大学競走部 1'36'04"	横浜高校 1'20'55"	六角橋中学校A 59'40"	樽町中学校陸上競技部 1'06'37"	新羽さわやか 1'36'59"
4位	チーム安井 1'27'16"	旭高校 1'42'09"	県立鶴見A 1'22'43"	日吉台中学校陸上競技部A 59'44"	新田中学校バスケ部A 1'10'35"	綱島連合チーム 1'37'06"
5位	横浜ウインズA 1'33'00"	ダイエッターズ(翠嵐) 1'42'16"	川崎市立橘高等学校 1'22'44"	大綱中学校陸上部B 1'00'11"	新羽中学校 1'12'18"	篠原A 1'38'13"
6位	横浜ウインズB 1'33'40"	法政女子高等学校 1'51'33"	翠嵐二軍 1'23'46"	大綱中学校陸上部A 1'00'52"	城郷中学校 1'12'20"	新吉田あすなろ連合チーム 1'40'06"

港北駅伝大会感想

太尾地区 駅伝チーム監督 野本 征治

第21回港北駅伝大会が平成18年1月15日鶴見川河川敷で開催されました。雨続きで当日の天候が心配されましたが、快晴に恵まれ多数のファンが押し掛け大変盛り上りました。

大会では連合町内会の部で我が太尾連合チームが他の地域を寄せつける事もなく、見事6年連続優勝を飾る事が出来大変うれしく思います。

11月中旬より子供達（3年～6年）20人程と大人（男女）10人程度で強化練習に入り、最終2チーム（18人）にしほり出場したわけですが、見事期待に応えてくれた選手の皆さんに心より感謝しています。

今回の大会は昨年のチームより若干チーム力のダウ

ンを予想しておりましたが、高校生が入り持ちゴマが多くなりチーム編成がらくになりました。

この点他の地区が打倒太尾に対し若干我がチームに、有利に働いた様に思います。

今年も多くの人達に助けて頂きました。地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もがんばりたいと思います。



たすきをもらって、さあスタート

港北駅伝大会を終えて

日吉台中学校陸上競技部顧問 谷崎 遊

1月15日（日）に港北駅伝大会に参加させて頂きました。中学男子の部、女子の部で優勝をすることができ、生徒たちも非常に喜んでおります。

日吉台中の陸上部は現在80名の部員がいます。自分が掲げた高い目標を達成するために、まずは当たり前の事を身につけようと、挨拶や身なり等の基本的な習慣、感謝の気持ち等、心の成長を第一に学校生活、部活動に努力できる集団であることを目指しています。

競技に関しては、どの子どもも入部してきた時には速い方ではありません。目標を強く意識し、そのために必要なことを考えて実行に移すことで、日々少しづつの成長を獲得しています。その過程として、子どもたちが今回のような成果を得られたこと、成長を実感して喜べたことが、顧問としては何よりも嬉しく思います。

目標は「全国大会出場」から「自己ベスト更新」、まで様々ではありますが、子どもたち一人ひとりが自己実現できるよう、応援サポートしていく、この姿勢を顧問としては大切にしたいと思っています。

最後になりましたが、このような機会を与えて下さった主催者の方々に感謝しております。来年新たなメンバーで連覇できるように、子どもたちとともに日々努力したいと思います。ありがとうございました。

市体指大会

樽町地区体育指導委員 和泉 誠

25年表彰長いようでしたがあつという間の25年でした。こんなに素晴らしいホールで表彰をしてもらえたのが最高に嬉しかったです。また二部講演の古屋先生のお話は今後の私の体育指導委員の立場としてすごく勉強になりました。古屋先生のお話を聞いているうちにふとわれわれが携わっている、地域でのスポーツ活動やイベントなどに今日のお話が役に立つなと思いました。また、古屋先生が高校野球の監督時代の裏話の中で、自宅で学生とともに合宿を行って、同じ釜の飯を食べ裸の付き合いをされたとのこと。これがチームの和作りだなと思いました。またわれわれが地域で行っているスポーツなどでも勝負に徹しているチームや、参加して楽しくやりたいチームなど様々ですが、どちらがいいのかはっきりいって解りません。古屋先生の講演内容は、自分にとって身になった様な気がしました。これからも体育指導委員としてみなさんのお手伝いをして行きたいと思います。

（平成18年1月22日 関内ホールで開催）

平成17年度表彰受賞者

横浜市体育指導委員永年勤続者表彰

【10年表彰】 小泉 誠（綱島）、山根 英洋（綱島）
 川端 国雄（篠原）

【15年表彰】 薄井 久子（日吉）、田中 初江（日吉）
 大谷 幸弘（綱島）、鎌水 徹（大曾根）
 赤城 久人（師岡）、内田 洋子（篠原）
 宮崎裕子（篠原）、小笠原亮二（あすなろ）

【25年表彰】 和泉 誠（樽町）、野本 征治（太尾）

加藤 修（篠原）、内田 達（新吉田）
 千葉 晃一（あすなろ）

横浜市体育指導委員連絡協議会退任者表彰

【勤続30年以上の退職者】 高嶋 勝代（綱島）

【区会長歴任での退職者】 小沢 正信（菊名）

神奈川県体育指導委員連合会功労者表彰

小泉 誠（綱島）、山根 英洋（綱島）
 川端 国雄（篠原）

健 民 祭

2年越しの晴天

新吉田あすなろ地区体育指導委員 三橋 正人

去る10月2日秋晴れに恵まれた日曜日、新吉田あすなろ地区運動会が盛大に行なわれました。

今年の大会は昨年雨天中止となり、体指・青指他準備に携わったスタッフ全員のくやし涙を1年間高利回りで運用した様な2年分の晴天となりました。

私は2大会続けて審判となり地区の皆様が日頃の運動不足と親睦を図って和気あいあいとした中で運動会が終わる・・・はずだったのですが。

蓋を開けて見ると町会対抗という事もあってか、最初はニコニコだった方々が得点競技ともなると、昔とったきねづかか、年寄りの冷水か、目をランランと輝かせ真剣な指示・命令?が飛び交い、やる方も見る方も興奮、また興奮のうちに竜虎相うち名勝負が展開されました。揚句のはてにはチームの年齢構成や判定にクレームがつくなど諸先輩達の迫力に圧倒されまくりの1日となり、翌日から3日間の筋肉痛とともに反省、また反省の日々となりました。

とはいって、無事に運動会を運営する事ができたのは、運動会スタッフ全員の努力と結束力と新田中学校吹奏楽部の皆様など多くの方の御協力あればこそと感謝しております。色々あったけど来年も審判ヤルゾー!



あすなろふれあい運動会

菊名地区健民祭

菊名地区体育指導委員 飯田 勝裕

菊名地区9町会による、第30回菊名地区健民祭が10月2日に菊名小学校で行われました。当日は、10月としては7年ぶりに30度を越える真夏日の中、約1200名の参加者がありました。



菊名地区健民祭

早朝から、各町会のお手伝いの方々、青指、体指によって大会本部テント、各競技の賞品などの準備が手際よく進められました。

来賓の方々の挨拶も終わり、錦が丘町内会の小学生による選手宣誓が行われ、参加者全員がラジオ体操で体をほぐして各競技が開始されました。「100m競争」から始まり、「町内会対抗障害物リレー」まで、全17種目が行われました。

中でも、参加されている小学生のお父さん、お母さんが中心の「ボール送り」、「ボールと仲良く」と家庭防災員が中心の「防災レース」は町内会対抗種目とあって各町会からの応援もすごく、大変盛り上がりいました。

また、小学生による「町内会対抗リレー」、一般男女による「町内会対抗障害物リレー」では、別途表彰される種目とあって、各町会とも優勝を目指して精鋭を集めての参加となりました。そんな中、一部で参加出来ない町会や、1周遅れの町会が出るなどハプニングもありましたが、一生懸命にがんばる姿に町会関係なく会場のみなさんから拍手が沸き起るのは健民祭ならではのことではないでしょうか。

昼食の時間には、菊名小学校マーチングバンドによる演奏が行われました。

総合優勝、リレーの表彰式が行われ、無事、大会を終了することが出来ました。これもひとえに、町会のお手伝いの方々、青少年指導員の協力によるもので、皆様に感謝する次第です。

地区発 とびっくす

指導者の育成

綱島地区体育指導委員 吉原 靖彦

私は、体指をはじめ、さわやかスポーツ普及委員をしております。年間を通して地域において行事が多く、4月は桜まつり、8月上旬には少年すもう大会、下旬には諏訪神社の例大祭、10月にはスポーツフェスティバル（運動会）を青指と一緒に行事に協力しております。そんな私ですが毎週日曜日にはグラウンドゴルフ、木曜日はソフトバレーの練習日になっており気心の知れた仲間と汗をかく事がストレスを解消し、健康的な日々を送っております。

同好会運営の世話を10年以上も経つと毎年同じような問題にぶつかり悩んでおります。一番目は実力本位でチームを作り、市・県の大会に出場し力をためそうと思う仲間、二番目はみんなで楽しく練習し、なおかつ健康を維持し、年一度の区大会に出場することで自分達のレベルを見極める事が出来、時々近隣のチー



綱島さわやかスポーツのみなさん

ムとの交流試合をすることで満足しています。まだ色々な問題もありますが何より個々の考え方の違うチームをまとめる事は協調性と自分の考えをおさえる事が必要だと思います。又、チームの年代層も高校生から六十歳代男女で構成され約30名程います。私は常々同好会を作る時は簡単ですが運営を存続させる事の難しさをいつも感じています。早く仲間の中から次の指導者を育てなくてはいけない時期に来ている事を痛感しております。

区体指研修会

高田地区体育指導委員 久我 忠志

私は2期3年目になります。この研修会は雨で4年も流れたそうですが、今回で本当に良かったです。

まずグラウンドゴルフについて

各地域の体指の皆さんがあつまってプレーをした事、いろんな方と知り合い良い組合せだと思います。

その中でスコアをつけているチームもあれば、つけていないチームもあり、自分達も2ホール目からつける様にしましたが、事務局の方でスコアをつけるようにアナウンスしてほしかったです。それともうというなら、スコアを集計し、後日会長会議の時に連絡してもらいたかったです。

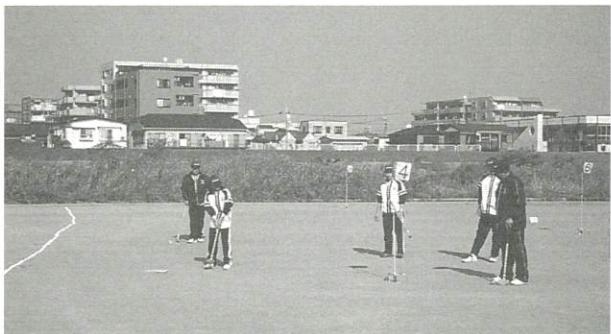
つぎにペタンクですが、同じ6人のメンバーでプレーをしました。まず組合せをどうするかで始まり、グラウンドゴルフの1番～3番（赤） 4番～6番（白）としプレーを始めました。その後勝ちチームと負けチームの1人がいれかわり、チーム編成をしました。1年生もいればベテランもいましたが、楽しい研修会でした。ゲーム終了後ペタンクのルールについて、説明・

質問、その他色々話が約10分ほどあり、1年生にとっては為になったと思います。

つぎに懇親会ですが食事をし、お酒を飲みながら和気あいあいで、皆さんのとても楽しそうな顔が印象的でした。

体指の皆さんは地域の代表者である事はいうまでもありませんが、各町会の役員をされている方も多く、どんなイベントをしているのか、又悩み事など情報交換にもってこいの懇親会でした。

（平成17年11月27日 樽町公園多目的広場で実施）



よくねらって

編集後記

早いもので、平成17年度の事業も残り少なくなりました。今年度は再三雨で流れていました区体指研修会（グラウンドゴルフ、ペタンク）が、樽町公園で開催されました。今年はいろいろな事業も天気に恵まれ予定通りに行う事が出来ました。

さて、前期迄、年3回発刊していた広報紙「活き生き体指」ですが、今期より年2回になりました。皆様の御協力により今迄と変わらない位の内容になっていると思います。これからも宜しくお願い致します。

篠原体指 加藤 修